

# 木もれ日

こもれび・komorebi・木もれ日

総合建設  
株式会社 日向建設 ひゅうがけんせつ  
〒247-0061 神奈川県鎌倉市台1-10-4  
http://www.hyuug.co.jp どこまでが夢ですか  
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303

## 今の特集!

## 人生の波と決断の時

小袋谷 I 様邸

自分の住む家をどうするか、それは今後の自分の生き方をどうするかという問題と大きく関わります。今回民家再生のリフォームを行ったI様はこのエネルギーのいる大変な作業をほとんど奥様一人で決断されたそうです。何事にも前向きでエネルギー、潔いその生き方に脱帽です。  
I様のご主人は一昨身体調を崩され、奥様の介護の日々が始まりました。さらに去年の秋、ご自宅の東南方向の隣地に、三階建ての家が境界ぎりぎりのところに建ててしまいました。それまで日差しと風通しが心地よかった部屋が暗くなってしまい、冬はエアコンとストーブ、こたつまで足しても暖まらず冷え冷えとしていたそうです。介護と家の心配、心労と疲労が重なり奥様にとってはつらい日々でしたが、日向建設が協賛しているマイホーム学院に参加したことで、自宅の改装を決めました。

## 大事なものは介護しやすい、されやすいということ。 心地よく暮らせるということ。そこで...

### 寒さと段差をダブルで解消

I様のお宅は増築に増築を重ねて現在の形になったということです。そのために家の中に段差ができてしまい、このままでは移動しにくく、怪我の心配がある状態でした。そこで普通より厚いコンクリート層をもうけ、床の高さを揃えました。これで段差をなくするとともに蓄熱力もアップしました。要したコンクリートは4tトラック十数台分。もちろん壁にも高品質の断熱材が十分入っています。耐震補強工事もしっかりとしました。今年の冬は蓄熱式床暖房の柔らかでクリーンな暖かさと安心感を感じていただけでしょう。



和紙の風合いが部屋全体をなごませています。

床を上げて高さを揃えるので、天井が低くなってしまいう問題がありました。そこで、天井も上げることになりました。問題は動かせない梁が出張ってしまうことでしたが、それを逆に装飾的に見せる方法で解決しました。梁の部分は壁紙(和紙)の色を変え、お部屋のアクセントに。モダンでおしゃれな印象に仕上がりました。

建て替えずとも、暮らしに合わせたリフォームが十分可能です。日本の住宅の平均寿命はおよそ26年です。アメリカは約44年、イギリスは75年、比較すると短いですね。これからはゴミを出さないエコの考えからも、上質なリフォームという形が増えてくるでしょう。

## 充実した人生をこの家で

### 生活を彩る多彩な趣味

奥様の趣味は家庭菜園、折り紙、そしてパソコン。どれも見事な腕前でいらっしゃいます。家庭菜園では、何種類もの野菜や果物が育てられ、夏場は野菜を買わなくてすむそうですよ！  
お部屋のところどころ飾られていた折り紙は、奥様手作りのものでした。和紙の壁紙とマッチしてとても素敵でした。今回のリフォームの設備についても、お得意のパソコンでよく調べたそうです。  
のんびりする暇がないのでは？とこちらが心配になるほどアクティブでいらっしゃいます。



家庭菜園で採れた野菜の数々



素敵な折り紙



左官の小川兄弟。仕上がりは、2人に任せておけば安心です。



この現場をまとめた、大工歴10年の金子 臣さん。

## ついに 終の棲家として

広いリビングからはお庭が良く見えます。サッシのガラスは、断熱効果の高いLOW-Eガラスです。介護のためにベッドを置くようにしても、十分に余裕のあるスペースです。



I 様 御夫妻  
木製ブラインドが和紙の壁紙と調和し、自然素材の部屋をやさしい雰囲気としています。



キッチンからリビングを抜けてお風呂へと、段差が無く一直線につながり、体が不自由でも楽に生活できるよう配慮されています。

### 信頼のあかし

お話の中でとくに嬉しかった事は、職人さんに対するお褒めの言葉でした。職人さん達が、誠意を持って仕事をしていただいた事や社長が毎日現場に足を運んで、次の日の予定などを話して言ってくれた事を評価していただきました。常にコミュニケーションを取りながら作業を進めていく事も、日向建設が大切にしている事のひとつです。I様にも安心して見守っていただけたようです。  
飾られた、職人さん達の名前の入った色紙は、その信頼の現われですね。名前をなかなか書いてくれないシャイな職人さんには「責任とってもらうんだから書いて…」って言ったのよ、と奥様は笑っていらっしゃいました。



職人さんたちの名前の入った色紙

### 三行情報 チョット住まいる

### あれ？ そうなの？ 意外？ 常識？ 食のあれこれ

#### ●魚を塩水で洗っていい？

魚を洗うときに、真水で洗うより塩水で洗う方が、味が抜けなくていいような気がしませんか？でもこれはダメです。腸炎ビブリオ菌という食中毒をおこす細菌は、好塩菌で塩水の中で爆発的に増えてしまいます。真水の中では死滅しますので、魚は真水で洗い、そのあと水気をよく拭き取りましょう。

#### ●缶詰の食べごろって？

普通の食品は鮮度が大事ですが、缶詰はどうでしょう。缶詰の場合、内容物によって異なりますが、製造時より時間が経った方が旨みが増してよいそうです。

果実缶は3ヶ月以上、油付け缶は1～2年経った物が美味しいそうです。

#### ●保存袋を使って、ひとつの鍋で複数の料理

ジブロックなどの密閉できる保存用の袋を使う、便利な料理法があります。袋に煮物などの材料を入れて用意(袋の中の空気は抜いておく)。鍋にすのこを敷き、袋が直接なべ底にふれないようにして、水の中に材料入りの袋を入れて沸騰させます。沸騰後中火で二分、火からおろして15分～20分保温します。三種類位いっぺんに！

### 見つけた！おいしいパン屋さん tekkona テッコナ TEL0467-46-8722

大船小学校正門へ伸びる道の脇にある白い木のドア。なにやらパンのいい匂いが…けれど中が見えず、入るのにちょっと躊躇しう。そこを、思い切って開けてみてください。何回か通って確信しました。おいしい！聞けば70種類ものパンがあるとか。メロンパンや練乳クリームの入ったパンなどが人気。電話でお取り置きもしてくれるそうです。お店の方達の感じもよく、休日の朝は“このパンとカフェオレなんていいなあ”と思っちゃいます。

[営業] 9時～19時 [定休] 月曜・第1,3日曜日



### +

#### スイス旅行

9月の初めに、スイスに行きました。幸い天候に恵まれユングフラウ、マッターホルンといった美しい山々とその下に広がる田園風景を堪能できました。これぞスイスという風景に、かわいい木の家がバルコニーを花いっぱいにして建っていました。どの国も、その場所の自然にふさわしい家を立てているんですね。



山岳地帯では、冬場は木の家は寒いのではと思いましたが、ガイドさんによれば、内側から板を貼っているから大丈夫とのこと。十分断熱されているのかと気になるところでした。薪が安価な燃料としてよく使われ、電気の床暖房も普及しているそうです。 編集人 S.I



#### ■編集後記

小袋谷のI様のお宅が完成しました。御夫妻は、我が家が住みやすくなり喜んでいますが、20年以上前から飼っていた愛猫の「捨丸」が死んでしまいました。工事中に家の周りをぐるぐる廻りながら“何をすんだ！”というように鳴いていたのを思い出します。本当に残念です… 鶴見区のN様宅の工事が最終段階に入っています。完成した様子を次号で

